

▶被災市町村(※)が策定した復興計画で示された市街地等の復興パターンについて、主に居住地に着目して分類すると、大きく下記の5つのタイプに分けられる。

- (A) **移転**: 今次津波による浸水区域の中で、居住を認めない区域を設定し、浸水区域外へ住宅を移転。
- (B) **現地集約**: 浸水区域の中で、海岸堤防や二線堤等の整備により津波に対する安全性が高められた区域に居住地を集約。
- (C) **嵩上げ**: 浸水区域の中の一部の区域を嵩上げし、そこに居住地を集約。
- (D) **移転+嵩上げ**: 移転と嵩上げの組み合わせ。住宅の区域外への移転と、区域内での嵩上げ区域への集約を同時に実施。
- (E) **現地復興**: 海岸堤防等の整備により津波に対する安全性を確保した上で、基本的に被災前と同じ位置に住宅を再建。

